# 国分寺市にふるさとをつくる会

#### 255号 令和5年6月1日発行

特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 理事長 岡本 浜夫

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 3-7-8 Tel: 090-6937-8070 fax: 042-325-7616

E-mail: hatamatu@mint. ocn. ne. jp

#### 姿見の池緑地保全地域で「希少種保護」「外来種対策」を実施!

令和元年に東京都が策定した『未来の東京』戦略 13"水と緑を一層

豊かにし、ゆとりと潤いのある東京"つくり の一環として、姿見の池緑地保全地域は、 希少種保護・外来種対策を行います。

植物の減少要因は、開発による生育環境の 消失や劣化、里地里山の管理・利用の縮小に よる遷移の進行や植生変化も多くの種の減少 要因となっています。



姿見の池緑地は、里山としての樹林地・水辺・湿地が揃っており、 「東京の生物多様性を目指す」にふさわしい場所と言えます。

姿見の池緑地保全地域では、毎年植物相調査を実施、今年も4月 に実施し、約230種の在来種植物を確認しました。

その中に希少種(東京都レッドリスト掲載)が、キンラン他8種で、 かつ群生するゾーンも数か所見られ、宝庫と言えます。

外来種で生育旺盛な植物は、他の植物の育成を阻害します。 姿見の池緑地の池周囲や湿地には、キショウブが大繋殖、既存植物 の生育や生存に悪影響を与えており、除去対策が必要です。

※東京都レッドリスト、東京都レッドデータブックはネットで、 検索ください。 (国分寺姿見の池緑の会 白木 昭憲)

#### 日吉町町内会

#### 「令和5年度 事業計画について」

会長 鹿島義之

令和4年の刑法犯が前年比5.9%増で、60万件となり、20年 振りに増加した。国分寺市でも462件となり対前年比で2件増加 した。無差別殺傷・強盗・特殊犯罪等により市民の多くが、治安が悪 くなったと感じています。

そのような背景で令和5年度の事業 計画を査定しました。

まず3コースにて防犯パトロールを 実施するためには1回10人で参加 人員1,000名を必要とし目標とし ました。日吉町町内会は3つの問題 点についてチャレンジしています。



3つの問題点は、①会員の確保②地域の高齢化③会員の高齢化です。 内容はハードルが高い問題ですが、毎回の定例会の議論の中で出来 ることをやることが必要と感じましたので、まず会員から実施して 拡大していくことでやりたいと思います。今回の事業計画では無差 別殺傷の原因となっている孤独・孤立の防止することを初めて計画 に取り入れました。そのため、子供・高齢者達の見守り強化を図る。 住民には小金井警察署の発行した防犯啓発チラシを年6回配布して 防犯知識の向上を図る、自身はイベントに参加して防犯知識の向上 を図り防犯パトロールの成果を少しでも上げて行きたい。

そして本年は5月31日に防犯パトロール1,700回を達成します ので7月に意見交換を予定しています。その中で、小金井警察署・ 国分寺市・第五小学校・自治会の各方面から多くのご意見を聞き少し でも役立てたいと思います。

これからも継続するためは、会員の高齢化に伴う人員の確保を図り 全員でがんばりたいと思いますので、よろしくお願いします。

#### <令和5年>6月行事予定

5日(月) 防災推進の街づくり仲間の会 井戸端会議 9:30 室内プール前井戸

10日(土) ふるさとをつくる会 総会 合同幹部会議

14:00~ 恋ヶ窪公民館

13日(火)「多摩の自然を楽しく学ぶ会」 9:30 JR 山手線・代々木駅

14日(水) 森の自然塾運営会議 9:30 恋ヶ窪公民館

17日(土)日吉町町内会定例会

13:30 日吉フードセンター

18日(日) 森の自然塾

9:20 エックス山中央

22日(木)多摩に歩く会「長池公園」 9:30 西国分寺駅南口噴水前

25日(日) 防災推進の街づくり仲間の会 14:00 恋ヶ窪公民館

25日(日) 姿見の池ホタルの会

作業: 9:30 姿見の池 総会:14:00 恋ヶ窪公民館

30日(金) 会報配布準備(含む印刷)

13:30 恋ヶ窪公民館

30日(金) 多摩に歩く会会議(会報配布準 備終了にて後) 14:15 恋ヶ窪公民館

### 《多摩に歩く会》

#### せせらぎ緑道から長池公園へ、 初夏の水辺と里山風景を楽しむ

長池公園は、長池見附橋の雄大な景観 と、2 つの溜池と里山のある自然豊かな 公園です。

緑豊かで美しい家並みが続く、せせら ぎ緑道をのんびり歩き、長池公園に向か います。 (※雨天中止)

日 時:令和5年6月22日(木)

集 合:9:30 JR 西国分寺駅南口噴水前

参加費:500円(保険、資料代含む)

持ち物:弁当・水筒、雨具、敷物、保険証

申込み:メール又は、はがきにて住所、 氏名、携帯番号メールアドレス

を記載して、酒井宏幸 宛

(nemimi2006@adagio.ocn.ne.jp)

締切り:6月12日(月)必着(先着25名) 〒186-0013 国立市青柳 2-25-8-406

TEL090-6667-9241

コース:(徒歩約6km、15時頃解散)

せせらぎ緑道⇒長池見附橋

⇒長池公園⇒長池公園自然館(昼食)

#### 自然塾新年度のスタート

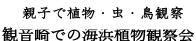
自然塾スタッフ 近江 吉郎

今年はソメイヨシノなど春の花が記録を塗り替える早さで咲き、季節の 進行の早さを痛感しました。爽やかな風と五月晴れのもと、170名を超え る応募の中から抽選で選ばれた45名で自然塾はスタートしました。

1年生が19人と最も多く、保護者と参加いただく自然の中でのプログラ ムは親子コミュニケーションの良い機会です。2~3年生は鋭い質突っ込 み、熱心にプログラムに取り組む姿勢は頼もしい存在です。ここで新しい 友達ができるのもスタッフの喜びの一つです。

前半はX山を五感で感じてもらい、主だった花・木を解説、どんな虫が 暮らしているか、どんな鳥が飛んでくるか、樹林地内を歩き探しました。 葉や木肌を見て触って匂いを嗅いでX山の自然を感じてもらうことが狙い です。そのあと気に入った木や花の絵を描いてもらいました。







スケッチ

## 「森の自然塾」のご案内

6月18日(日)

9時20分 X山に集合

X山には様々なお花が咲きます。

- \* 花や葉っぱをよく観察しまし
- \* ビンゴゲームで花の名前を覚 えましょう!

(雨天の場合は第九小学校で行い

後半は歩きながら見つけた虫をケ ースに集めました、虫が苦手な児童も 徐々に馴染み、保護者の方と一緒に樹 林地のなかに多くの命が育んでいる ことを実感しました。最後に全員で見 つけた虫が、どの虫の仲間か学び、集 めた虫は放ちました。天候に恵まれ自 然を存分に感じ、賑やかに新年度のス タートができました。

「春期動植物調査講習会」に参加して

森の自然塾インストラクター 三田晴美 5月25日 X 山に於いて「春期動植物調査講習会」

が開かれ、参加させて頂きました。毎月X山で森の自

然塾の活動をしています。その準備で時々昆虫や鳥を

観察しています。今回専門家の方と一緒に調査出来る

講習会という事で、丁寧な説明から始まりました。

特に記録の取り方はとても参考になりました。今後は

記録用紙を利用して継続して記録をとる様にしようと

ムクドリの幼鳥を捕食している様子を見る事が出来ま

このような鳥の子育ての様子から、X 山の環境が豊

かに保たれている事が分かり安心しました。あっとい

という事で楽しみにしていました。

思います。

実際の観察時間は少し短

くなり、もう少し歩きた

かったと思いました。そ

れでも鳥は7種、昆虫は

18種記録しました。特 にカラスやシジュウカラ

の親が幼鳥にエサを与え

ている様子やカラスが

「多摩の自然を楽しく学ぶ会」参加者 長田 文子 「ああ、楽しかった。」帰りの電車での私の思いです。 あの黒船来航の、ペリーが着いた浦賀での海浜植物観 察会とは、と興味津々でした。

浦賀駅前で、歴史や植物に ついて予備知識の説明があり、 バスで観音崎へ出発。

ハマダイコンの種を食べて、 ダイコンの味を感じ、

砂浜で、ピンクの可憐な花咲 くハマヒルガオが、しっかり と地下茎をもち、砂の上を這 うように茎をを伸ばしていく 様をみて、人生を重ね合わせ ました。



ハマヒルガオ

昼食時は、浦賀水道を行き交う船を眺め、その向こ うに見える房総半島を見て望郷の念にしばし駆られ (私は千葉県出身) ました。5 月の好天に恵まれ、穏 やかな波音を聴き、潮風に吹かれ、自然の植物達に足 を止め、充実し、満足した時間を過ごすことが出来ま した。

> エックスやま 本社はX山に位置します

> > 自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441 国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠 (長野県下伊那郡出身)

#### 私たちは木を森を自然を 大切にしています。

う間の楽しい2時間でした。

**Environment Conscious** 

企業紹介はこちら



HITACHI Inspire the Next ホームページ 国分寺市に ふるさとをつくる会

鳥の観察

ORコード



# 環境保全に配慮し、 人に、社会に、地球に 優しい製品及び

サービスを提供します



https://www.rion.co.jp/

R&D for the Future

